【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成17年8月18日(2005.8.18)

【公開番号】特開2003-152914(P2003-152914A)
【公開日】平成15年5月23日(2003.5.23)
【出願番号】特願2001-343048(P2001-343048)
【国際特許分類第７版】
　Ｈ０４Ｎ　 1/00
　Ｂ４１Ｊ　29/00
　Ｂ４１Ｊ　29/42
　Ｇ０３Ｇ　21/00
　Ｇ０６Ｆ　 3/12
　Ｇ１０Ｌ　15/00
【ＦＩ】
　Ｈ０４Ｎ　 1/00　　Ｃ
　Ｂ４１Ｊ　29/42　　Ｆ
　Ｇ０３Ｇ　21/00　３８０
　Ｇ０３Ｇ　21/00　３８６
　Ｇ０６Ｆ　 3/12　　Ｃ
　Ｂ４１Ｊ　29/00　　Ｔ
　Ｇ１０Ｌ　 3/00　５５１Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成16年11月8日(2004.11.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　キー入力手段と、音声入力手段と、該音声入力手段の音声データを認識する音声認識手段と、画面表示手段と、該画面表示手段に表示される画面データとその画面での有効なコマンドとの組み合わせが蓄積されている画面データベース手段と、該画面データベース手段を参照して前記キー入力手段からのデータ又は前記音声認識手段からのデータが現在の画面で有効なコマンドか否かを判定するコマンド判定手段と、該コマンド判定手段により有効と判断されたコマンドに応じた処理を実行する処理手段とを有することを特徴とする画像形成装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
　　【０００７】
　　【課題を解決するための手段】
　上記目的を達成するため、本発明は、画像形成装置に、キー入力手段と、音声入力手段と、該音声入力手段の音声データを認識する音声認識手段と、画面表示手段と、該画面表示手段に表示される画面データとその画面での有効なコマンドとの組み合わせが蓄積されている画面データベース手段と、該画面データベース手段を参照して前記キー入力手段か

らのデータ又は前記音声認識手段からのデータが現在の画面で有効なコマンドか否かを判定するコマンド判定手段と、該コマンド判定手段により有効と判断されたコマンドに応じた処理を実行する処理手段とを有する。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４２】
【発明の効果】
以上の説明で明らかなように、本発明によれば、画像形成装置に、キー入力手段と、音声入力手段と、該音声入力手段の音声データを認識する音声認識手段と、画面表示手段と、該画面表示手段に表示される画面データとその画面での有効なコマンドとの組み合わせが蓄積されている画面データベース手段と、該画面データベース手段を参照して前記キー入力手段からのデータ又は前記音声認識手段からのデータが現在の画面で有効なコマンドか否かを判定するコマンド判定手段と、該コマンド判定手段により有効と判断されたコマンドに応じた処理を実行する処理手段とを備えることにより、通常のキー入力とともに音声入力によっても処理の指示を行うことができるとともに、その時点で無効なコマンドによる予期しない動作を避けることができるという効果が得られる。